

岩城 誠 一般財団法人災害支援財団 代表理事(理事長)



経歴

富山県富山市出身(昭和24年生まれ) 県立富山高校卒
防衛大学校15期(海上要員 航空工学専攻) 幹部候補生(江田島22期)
遠洋航海(北米、南米コース) 飛行課程学生(固定翼パイロット)
佐世保地方総監部幕僚、自衛艦隊司令部幕僚、米海軍補給廠勤務(米国オークランド)
需給統制隊企画室長、海幕需品課需品班長、吉浦貯油所長、横監経理部長、補給本部需品部長
を歴任 平成17年定年退職 東邦チタニウム(株)顧問(平成25年退職)

平成20年NPO法人日本の平和と安全基盤を支える会を設立(現在理事長)

平成28年一般財団法人災害支援財団を設立(現在理事長)

自衛隊員の処遇改善と退職自衛隊員の活用及び災害に強い地域社会の育成を目的として活動
(国民の安心と安全を確保する活動:防災と防犯)

平成17年自衛隊現役とOBを対象とするJDA(Japan Defense Associate)倶楽部を設立、平成29年
から消防団員を含むJSO(Japan Service Organization)倶楽部へ移行準備中。

活動の実績

1 東日本大震災直後から民間自家用ヘリコプター協会の空輸の支援を実施

2 福島お助け隊(福島を助けたい。)を編成、全国の自衛隊OBの協力を得て約3年間次の事業を実施。

(全国から最大時は200名の自衛隊OBが参加)

- ・放射線量測定(川内村、飯館村、南相馬ほか)
- ・除染作業(郡山市、葛尾村、飯館村、南相馬市ほか)
- ・民間業者の除染作業の監視業務(福島市)

<自衛隊OBの献身的な働きに、地域住民から感謝されました。>

南相馬市の放射線量測定完了に伴う解散式(北海道～鹿児島県各地から参加)
平成24年8月(小高神社に無事故と住民の無事帰還を祈念)
酷暑下の作業完了祝賀会(自衛隊仲間の**絆**、**義**の精神で参加、出会いの**縁**)

3 防災・防犯組織と防災基地の構築

現在、準備中

防災防犯カードの運用により安心安全の確保



陸海空自衛隊OBの統合作戦

2012/08/24

